

小児期に発症する精神神経疾患における臨床評価指標及び神経心理学的指標の後方視的検討

1. 本研究の目的

本研究は、診察の際に得られた臨床評価指標及び神経心理学的指標を調査することで、小児期に発症する精神神経疾患それぞれに固有の特長を明確にすることを第1の目的としています。さらに亜型（subtype）を抽出し、抽出された亜型ごとに、発達歴・家族歴の情報も加味して検討することで、それぞれの精神神経疾患の基盤にある脳機能障害の理解を深めることを第2の目的としています。なお、入手した情報をこの研究目的を逸脱して利用することはありません。

2. 対象

2006年4月1日から2022年3月31日までに東京大学医学部附属病院こころの発達診療部に受診した小児期に発症する精神神経疾患患者を対象とします。

3. 方法、研究が行われる機関、実施場所

東京大学医学部附属病院内において、患者カルテを見ながら個人情報を除いた診療内容を調査票に記入します。この時点で患者の匿名化は完了しています。患者識別情報が含まれないデータのみ研究者が研究に利用します。研究者は、東京大学医学部附属病院内において、データの統計解析を実施します。

4. 研究における倫理的配慮について

本研究は、診察の際に得られた臨床情報の解析です。患者の生命・健康に直接影響を及ぼさず、人体から採取した試料は用いず、患者を特定するデータも存在しません。

5. 連絡先

ご質問等ありましたら、下記までご連絡ください。

東京大学医学部附属病院こころの発達診療部

電話：03-3815-5411（代表）

金生 由紀子